

社団法人地盤工学会 平成 21 年度 第 5 回 理 事 会

議 事 録

日 時 : 平成 21 年 9 月 28 日 ( 月 ) 14 : 00 ~ 16 : 15		場 所 : 地盤工学会 3F 会議室	
出席者 :			
浅岡 顕 会 長	風間 基樹 総務部長	坪田 邦治 理 事 ×	江藤 芳武 理 事
西垣 誠 副 会 長 × (兼災害担当兼企画部長)	西本 聡 会員・支部部長	原田 健二 理 事	三藤 正明 監 事
	古関 潤一 国際部長	谷 和夫 理 事	谷 茂 監 事 ×
高橋 邦夫 副 会 長 (兼基準部長)	三村 衛 会誌部長	岩田 英二 理 事	
	古屋 弘 事業部長	大塚 悟 理 事	
村上 章 副 会 長 (兼総務担当)	川邊 敏弘 調査・研究部長	李 圭太 理 事	
	奥野 哲夫 理 事	中井 正一 理 事	

【事務局】戸塚事務局長，浅野次長兼総務・経理課長，鈴木一般事業課長，下山刊行事業課長

注) : 出席、× : 欠席

\* 定款 34 条に則り理事出席者 17 名が定足数 ( 13 名、定員 19 名の 3 分の 2 ) を満足している事を確認し、理事会の成立が報告された。

\* 議事録署名者として、風間基樹、奥野哲夫 を選出した。

議 題 :

議 事 録 確 認

\* 以下の議事録が承認された。

- 1 . 理事会議事録 ( 案 )( 7 / 24 ) [ 別紙 - 1 ] pp. 1-10
- 2 . 平成 21 年度臨時総会議事録 ( 案 )( 8 / 18 ) [ 別紙 - 2 ] pp.11-12

審 議 事 項

総 務 部

- 1 . 平成 22 年度事業方針・計画案および予算作成案 [ 別紙 - 3 ] pp.13-14
  - \* 風間総務部長から 7 月 24 日審議に従い、副会長・各部部长への次年度の事業方針・計画 ( 案 ) と予算案の作成依頼文とそのスケジュールの案が説明された。基本目標である公益法人への移行を目的とした予算案の構築 ( 収支相償を考慮、公益事業費率の 50% 以上の確保 ) を依頼する依頼文が満場一致で承認された。また、スケジュールについても満場一致で承認され、まず 10 月 30 日の一次予算案提出に向けて作業を開始頂くことについて風間総務部長からお願いがあった。
- 2 . 会長・副会長最終候補者選挙細則の変更 [ 別紙 - 4 ] pp.15-17
  - \* 風間総務部長から説明がなされ、副会長の選出に関する細則の変更について審議された。『いわゆる「産公学」の』という説明を残す必要性について質問があったが、事務局で「産」、「公」、「学」の選別対応は可能であり意味は汲み取れることから、問題ないものと了解された。これにより、副会長の改選数が 2 名の場合は、1 名は「産」または「公」から選出し、ほかの 1 名は「学」から選出することに、満場一致で承認された。
  - \* 会長一次候補者に関して、候補者になることの諾否を得たうえで、期限を定めて所信の作成を求め、所信は代議員の投票に参考として付すことへの変更が審議された。なお、所信の作成を求め、候補者は本人の意向により必ずしも所信を提出しなくてもよいことが説明された。本変更も満場一致で承認された。
- 3 . 平成 22 年度会長・副会長選挙、代議員選挙スケジュールおよび第 3 期代議員定員数 [ 別紙 - 5 ] pp.18-20

\*平成22年度の会長・副会長選挙のスケジュールおよび第3期代議員の選考にかかわるスケジュールについて風間総務部長から説明がなされた。第3期代議員は第2期と同様130名の定員で実施することで、スケジュールと共に満場一致で承認された。

4. 表彰規程および表彰委員会規程の変更 〔別紙 - 47〕 pp.136-144 (当日配布)

\*変更点として、地盤工学貢献賞を新設(2年毎表彰)、地盤工学シンポジウム優秀論文賞の新設、表彰委員会内規の変更(4点制)の3点について風間総務部長から説明のうえ審議がなされた。なお、の表彰委員会内規変更は、理事会への『報告事項』である。、の新設の趣旨に全員賛同のうえ、表彰規程ならびに表彰委員会規程の変更を満場一致で承認された。

災害連絡会議

\*特になし。

企画部

\*特になし。

会員・支部部

1. 本部支部懇談会 (H21.11.27(金)15:30~) 議題(案) 〔別紙 - 6〕 pp.21-22  
\*西本会員・支部部長より、本部支部懇談会を11月27日に開催するにあたり、その議題案の説明がなされた。今年度の活動状況報告、公益社団法人への移行について、などの議題で実施することで満場一致で承認された。
2. プレミアム会員会費の平準化 〔別紙 - 7〕 pp.23-26  
\*西本会員・支部部長より、プレミアム会員会費の平準化について説明があった。プレミアム会員制度に関して、プレミアム会費(一括納入額)を80歳までの年次で平準化し、毎年1年分を当年度の受取額として処理し、残額を前受金として処理することのメリット・デメリットが説明された。年齢構成のピークにより会費収入の落ち込みに対して、会費の安定化に寄与するなど、平準化が望ましいことから、満場一致で承認された。
3. 新規入会希望者(平成21年9月1日入会) 〔別紙 - 8〕 pp.27-30  
\*新規入会希望者について、満場一致で承認された。

国際部

\*特になし。

会誌部

\*特になし。

事業部

1. 新刊本出版趣意書 〔別紙 - 9〕 pp.31-33  
\*李理事から、入門シリーズとして「山留めにおける創意・工夫(仮題)」(予定価格3,000円程度)の新刊本の趣意書が説明された。2011年2月出版予定であるが、執筆に時間をかけないで出来るだけ早期に出版できるように会長からコメントがあった。満場一致で承認された。
2. 都市の地盤の出版契約書(案) 〔別紙 - 10〕 pp.34-45  
\*古屋事業部長から「全国70都市の地盤と災害ハンドブック(仮題)」(予定価格:定価35,000円、会員価格30,000円)の出版契約書について説明がなされた。本出版は、特殊でカラーも多く高額で、丸善に出版委託(400部を丸善が販売)することからそれに伴う契約書であり、契約内容は一般的な出版契約を踏襲している。丸善からの販売の場合、比較的高額の本の方が良く売れ、図書館や大学研究室をターゲットにした方がよいとのこと。2010年6月の脱稿予定で満場一致で承認された。

調査・研究部

1. 第 45 回地盤工学研究発表会（愛媛大会）実行委員長

- ・実行委員長候補：矢田部 龍一 氏（愛媛大学大学院理工学研究科 教授）
- \* 川邊調査・研究部長から説明があり、実行委員長として愛媛大学 矢田部 龍一教授が満場一致で承認された。

基準部

1. JIS 規格等著作物利用に関する契約（相手先：日本規格協会） [別紙 - 11] pp.46-55  
[別紙 - 49] pp.150-153 (当日配布)
- \* 江藤理事より、JIS 規格等著作権利用基本契約（別紙-11）の第 3 条および第 4 条は、著作権の侵害にあたる可能性が高いので、三木弁護士とも相談のうえ、「JIS 規格等著作物利用基本契約書に関する特約書」を結ぶことで進めている旨、説明がなされた。満場一致で承認された。

予備審議事項

- \* 特になし。

調査・研究部

- ~~1. 地盤工学会の社会貢献を目指した全国電子地盤図の拡張事業の提案 [別紙 - 12] pp.56-60~~

報告事項

総務部

1. 経理関係報告 [別紙 - 13] p.61、[別添資料 - 1]  
\* 8 月末経理状況について、風間総務部長ならびに浅野次長から報告され了承された。
2. 各支部への上期中間決算の依頼 [別紙 - 14] p.62  
\* 各支部への上期中間決算の依頼について、風間総務部長から報告され了承された。
3. 広報関連報告 [別紙 - 15] pp.63-69  
\* 広報委員会の今年度の活動計画を、奥野理事から報告され了承された。
4. マスコミとの懇談会：「地盤工学会メディア懇談会」の件 [別紙 - 16] pp.70-73  
\* メディア懇談会の開催趣旨および第 1 回目(9/28)開催を、村上副会長および風間総務部長から報告され了承された。
5. 支部規程の変更案 [別紙 - 17] pp.74-77  
\* 風間総務部長から支部規程の変更案として東北支部の例が示され、この例を参考に各支部の規程変更案を作成したい旨の報告があった。各支部事務局にこの例を雛形として送付するので、各支部で早期に作成し出来次第総務部に送付頂くことで了承された。
6. 表彰委員会内規の変更 [別紙 - 48] pp.145-149 (当日配布)  
\* 審議事項の『総務部 4.表彰規定および表彰委員会規定の変更』と関連して風間総務部長から報告があり、承認された。評価の違いを明確にするため 4 点制にすることなどが変更ポイントである。
7. 建設系 7 学協会会長懇談会での議題 [別紙 - 18] p.78  
\* 建設系 7 学協会会長懇談会の議題が報告され、会長が第 17 回国際地盤工学会議（エジプト）出張中のため、西垣副会長、高橋副会長が出席されることで承認された。
8. 平成 21 年度第 1 回選挙管理委員会開催議題 [別紙 - 19] pp.79-80  
\* 上記について風間総務部長から報告がなされ了承された。
9. 事務局関連
- 1) 職員の永年勤続表彰 [別紙 - 20] p.81  
・松本雅樹 職員（勤続 20 年）  
\* 上記について承認のうえ、会長より表彰が行われた。
- 2) 創立記念日(10 月 1 日)：就業規則第 14 条により休日

\* 上記について風間総務部長から報告がなされ了承された。

## 10. その他

1) 四国支部創立 50 周年記念式典、祝賀会：平成 21 年 9 月 25 日（金）〔別紙 - 21〕p.82

\* 上記について村上副会長に出席頂いた旨の報告がなされ了承された。

2) NEXCO 中日本への激励文送付〔別紙 - 22〕p.83

\* 8 月 11 日駿河湾の地震による東名高速で盛土損傷の早期復旧に対して、NEXCO 中日本社長に会長名で激励文を送ったことが報告された。このような事例は地盤工学の貢献として、新設される地盤工学貢献賞に値するものと考えられるが、新設前でもありタイムリーな表彰ができないため、今回は激励文の形で送付した旨の説明があり、了承された。

3) 平成 21 年度日本工学会フェロー認定結果の連絡〔別紙 - 23〕p.84

\* 上記について龍岡前会長がフェロー認定されたことが風間総務部長から報告され了承された。

4) KGS, CISMGE-CCES, TGS への 2007 年度会長特別委員会報告書の寄贈〔別紙 - 24〕pp.85-87

\* 上記について風間総務部長から報告がなされ了承された。

5) 科学研究費補助金における経理状況等の実地検査〔別紙 - 25〕pp.88-89

\* 上記について風間総務部長から報告がなされ了承された。

6) とうきゅう環境浄化財団 社会貢献学術賞受賞候補者の推薦〔別紙 - 26〕pp.90-92

\* 上記について風間総務部長から報告がなされ了承された。

7) 共催、後援、協賛等の依頼

\* 風間総務部長から下記の項目の報告がなされ了承された。

「第 24 回環境工学連合講演会」の共催および運営委員の推薦 主催：日本学術会議

・運営委員の推薦：勝見 武 氏（京都大）/ 共催負担金：10,000 円

「平成 21 年度女子中高生夏の学校 2009～科学・技術者のたまごたちへ～」の共催 主催：国立女性教育会館 H21.8.13-15

「建設工事で遭遇する廃棄物混じり土対応マニュアル講習会」の後援 主催：土木研究センター H21.10.9,16

「建設技術者のための地盤の可視化と評価法発刊に伴う講習会」の後援

主催：災害科学研究所トンネル調査研究会 H22.2.5

「建築基礎設計のための地盤調査計画指針改定講習会」の後援 主催：日本建築学会 H21.11.20,25

「平成 21 年度 TRD 工法協会技術セミナー」の協賛 主催：TRD 工法協会 H21.10.30

「平成 21 年度建設施工と建設機械シンポジウム」の後援 主催：日本建設機械化協会 H21.11.10-11

「第 14 回震災対策技術展 横浜」の後援 主催：震災対策技術展 横浜 実行委員会 H22.2.4-5

8) HP・メールニュース等による会員への周知

\* 風間総務部長から下記の項目の報告がなされ了承された。

「鹿島学術振興財団 2009 年度研究助成募集」の会員への周知依頼 鹿島学術振興財団よりの依頼

・学会提出締切日：10 月 30 日（金）

「平成 22 年度笹川科学研究助成募集」の会員への周知依頼（H21.10.15 締切） 日本科学協会よりの依頼

「第 9 回グリーン・サステイナブル・ケミストリー賞候補者募集」の会員への周知依頼（H21.11.2 締切）

GSC ネットワークよりの依頼

「立正大学地球環境科学部の教員募集依頼」の会員への周知依頼（H21.8.20 締切）

米林 伸 氏（立正大）よりの依頼

「京都大学大学院地球環境学堂社会基盤親和技術論分野教員募集依頼」の会員への周知依頼

（H21.9.30 締切） 勝見 武 氏（京都大）よりの依頼

「大阪市立大学大学院理学研究科・理学部地球学教室教員募集依頼」の会員への周知依頼

（H21.10.16 締切） 三田村宗樹 氏（大阪市立大）よりの依頼

「平成 21 年度東濃地科学センター地層科学研究情報・意見交換会開催」の会員への周知依頼

（H21.10.27 開催） 西尾和久 氏（東濃地科学センター）よりの依頼

「防災・安全・復興に関する国際シンポジウム開催」の会員への周知依頼

（H21.10.16-18 開催） 中越防災安全機構よりの依頼

「平成 24 年度開催国際会議における共同主催募集」の会員への周知依頼 日本学術会議よりの依頼

「低平地に関する国際シンポジウム(ISLT2010)投稿・開催」の会員への周知依頼

(H22.9.16-18 開催) ISLT2010 実行委員会よりの依頼

「北見工業大学工学部社会環境工学科教員募集依頼」の会員への周知依頼

(H21.12.22 締切) 山下 聡 氏(北見工大)よりの依頼

11. 第 44 回地盤工学研究発表会優秀論文発表者

[別紙 - 50] pp.154-157 (当日配布)

\* 上記について風間総務部長から報告がなされ了承された。

#### 災害連絡会議

1. 災害調査団の結成報告

[別紙 - 27] pp.93-94

1) 九州北部土砂災害調査団

2) 平成 21 年台風 9 号による地盤災害調査団

\* 上記 2 件の調査団について風間総務部長から報告がなされ了承された。

#### 企画部

\* 特になし。

#### 会員・支部部

1. 平成 21 年度本部支部連絡協議会(8/18)議事録(案)

[別紙 - 28] pp.95-97

\* 上記について西本会員・支部部長から報告がなされた。議事録(p.97)にある大津関西支部幹事長の質問(受託の発注元の想定とニーズ)に対する回答としてパンフレット送付を行ったか確認しておく旨を風間総務部長より説明がなされた。また、江藤理事から緊急時のフローとして災害時はどのようにするか質問があり、契約は後付になる可能性もあるが検討しておく旨を風間総務部長より回答があり、了承された。

2. 新規入会希望者(平成 21 年 8 月 1 日入会) [別紙 - 29] pp.98-101

(平成 21 年 8 月 20 日会員・支部部会メール審議承認)

\* 上記について西本会員・支部部長から報告がなされ了承された。

#### 国際部

1. 国際委員会議事録(21.8.18 開催)

[別紙 - 30] p.102

\* 上記について古関国際部長から報告がなされた。別紙-30 に補足して、第 17 回国際地盤工学会議では、次期会長と次期開催地が決定されるが、次期会長には北米からプリオー教授と南米からハチ教授が推薦され JGS としてはプリオー教授を推すこと、また開催地はフランスと中国が立候補することが報告され、了承された。

2. IS-Hokkaido 2012 実行委員会構成案 [別紙 - 31] p.103

\* 上記について古関国際部長から報告がなされ了承された。

#### 会誌部

\* 三村会誌部長からの下記の報告に加えて、大塚理事より第 17 回国際地盤工学会議(エジプト)に関して平成 22 年 3 月号の記事執筆を分担頂ける方を紹介願いたい旨のお願いがあった。

1. 「地盤工学会誌」11 月号の発行, 目次:

・ 10 月 26 日納本予定、10 月 29 日発送予定

[別紙 - 32] p.104

\* 上記について三村会誌部長から報告がなされ了承された。

2. 「Soils and Foundations」Vol.49, No.5 の発行, 目次:

・ 10 月 26 日納本予定、10 月 29 日発送予定

[別紙 - 33] p.105

\* 上記について三村会誌部長から報告がなされ了承された。

3. 「地盤工学ジャーナル」 Vol.4, No.3 (2009.9) の発行, 目次

[別紙 - 34] p.106

\* 上記について三村会誌部長から報告がなされ了承された。

4. 「地盤工学会誌」編集委員会規程の変更

〔別紙 - 35〕 pp.107-111

\* 地盤工学会誌の編集委員会の構成および開催を効率的に行うため、重複する議事・報告を少なくするよう見直しを行い、それに沿った形に規程を変更した旨の報告が三村会誌部長からなされ了承された。

5. 「地盤工学会誌」優秀賞候補者選定に関する細則の変更

〔別紙 - 36〕 pp.112-114

\* 上記について三村会誌部長から報告がなされた。変更ポイントして、選考の採点を5点、3点、1点として評価に差が出やすいように見直しを行ったことなどが説明され、了承された。

事業部

1. 事業部既刊本の見直し： 「入門29. 知っておきたい根切り山留めの基本」：絶版（在庫切れ後）

\* 古屋事業部長より上記の報告があり了承された。

2. 既刊本の増刷

1) 入門35. 地盤・耐震工学入門：300部

2) 地盤工学・実務シリーズ23. 豪雨時における斜面崩壊のメカニズムおよび危険度予測：400部

\* 古屋事業部長より、上記2件の報告があり了承された。なお、2)に関しては300部が普通であるが、カラーで価格が高いので400部で単価安となるようにした。

3. 出版スケジュールの延長に係わる提出書類

〔別紙 - 37〕 p.115

\* 李理事より上記の報告があり了承された。

4. 平成21年度講習会収支報告

\* 古屋事業部長より上記について以下のとおり報告があり了承された。

6月、7月、8月の講習会収支報告

講習会名	会場	収入予算	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日	(円)	収入実績(円) A		支出実績(円) B		実績の収支差(円) C=A-B(見込み)		
地下水を知る講習会	JGS 会館大会議室	405,000	27	7	0	1	42	35	83%
	6月4日		344,000		308,727		35,273		
続・土壌・地下水汚染の調査・予測・対策講習会	JGS 会館大会議室	309,000	20	17	1	2	52	40	77%
	6月11日		271,000		77,736		193,264		
わかりやすい構造物基礎講習会	JGS 会館大会議室	405,000	54	10	0	0	42	64	152%
	6月12日		670,000		204,832		465,168		
地盤環境振動対策工法講習会	JGS 会館大会議室	724,000	34	4	1	1	52	40	77%
	6月16日		523,000		345,718		177,282		
土質基礎に関する技術-技術士受験のポイント-講習会	JGS 会館大会議室	1,005,000	26	7	1	2	39	36	92%
	6月17,18日		862,000		402,830		459,170		
第1回 実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会	JGS 会館大会議室	1,068,000	44	8	0	1	42	53	126%
	7月7,8日		1,449,000		483,371		965,629		
基礎構造物の信頼性設計講習会	JGS 会館大会議室	-	41	7	0	0	-	48	-
	7月10日		645,000		300,050		344,950		
やさしい補強土講習会	JGS 会館大会議室	405,000	35	9	1	0	42	45	107%
	7月29日		283,000		76,147		206,853		
土砂災害ハザードマップ講習会	JGS 会館大会議室	465,000	17	6	1	14	40	38	95%
	8月11日		494,000		286,976		207,024		

H21 年度 5 月～これまでの合計見込み

収入実績	実績の収支差
6,342,000	3,453,452

5. 60 周年記念事業講演会開催報告

\* 古屋事業部長より上記報告として、9 月 5 日に本部事業部と関東支部の共催の形で、「我が家を地震と水害から守る」講演会を東京大学で開催した旨の報告がなされ了承された。

6. 平成 21 年度 WEB ラーニング

〔別紙 - 38〕 pp.116-117

\* 古屋事業部長より上記について報告され了承された。

7. ショッピングカートの改修

\* 古屋事業部長より上記についてクレジット決済が可能になった旨の報告があり了承された。なお、講習会の開催もクレジット決済が可能になった旨の補足説明があった。

8. 平成 21 年度講習会開催計画案

〔別紙 - 39〕 pp.118-122

- 1) 「地盤の連続体力学入門」講習会
- 2) 「地盤の動的解析-基礎理論から応用まで-」講習会
- 3) 「建設・産業副産物の工学的有効利用」講習会
- 4) 「地盤工学者のための舗装入門-基礎から応用まで-」講習会
- 5) 「地盤の地震応答解析の進め方」講習会

\* 古屋事業部長より上記 1)～5) について報告があり了承された。なお、出版の遅れなどもあり平成 21 年度は全部で 34 程度の講習会としていることが補足された。また、5) に関しては講師が 1 名のみであるが、今後調整確認するものとした。

調査・研究部

1. 委員の追加

- 1) 情報通信技術 (ICT 技術) の適用による地盤工学の高度化に関する研究委員会

橋本 和佳 氏 (中央開発 (株))

古屋 弘 氏 ((株)大林組)

矢部 満 氏 (応用地質 (株))

\* 上記について川邊調査・研究部長より報告があり了承された。

2. シンポジウムのプログラム

- 1) 委員会主催シンポ「降雨と地震に対する斜面崩壊機構と安定性評価に関するシンポジウム

〔別紙 - 40〕 pp.123-126

- 2) 第 54 回地盤工学シンポジウム

〔別紙 - 41〕 pp.127-130

\* 上記 1) 2) について川邊調査・研究部長より報告があり了承された。

3. 地盤工学研究発表会

- 1) 第 44 回地盤工学研究発表会開催報告

・開催日：平成 21 年 8 月 18 日 (火)～21 日 (土) 21 日 (土) は見学会のみ開催

・会場：関東学院大学 金沢八景キャンパス

・発表数：987 件

・参加者：有料参加者 - 1,592 名

- 2) 第 45 回地盤工学研究発表会の論文募集

〔別紙 - 42〕 p.131

\* 上記 1) 2) について川邊調査・研究部長より報告があった。第 46 回開催時期は申し込み事項となっているが 8 月中～下旬に固定されないよう検討していくこと、また第 44 回開催は黒字になっていることなどを勘案し還付金についてルールの見直しも考える必要があり 10 月に審議したい旨を伝え、了承された。

4. DVD の販売状況報告

・平成 21 年 9 月 18 日現在 72 セット

\* 上記について川邊調査・研究部長より報告があり了承された。

1. 委員の追加

1) ISO/TC190 国内専門委員会

- ・江原 克信 氏 (掘場製作所水質・温度計開発部 pH Team・チームリーダー)
- ・竹田 良子 氏 (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクスマーケティング部環境診断)

追加理由: TC190 国内専門委員会では、赤外吸収分光光度計により、土壌中の脂肪族、あるいは芳香族炭化水素類を現場で簡易に測定するための関連技術 (赤外吸収法および比濁法) の議論を行っている。これらの議論を行う上で、専門家として上記 2 名の委員就任の要請をする。候補者は、これらの分野において当該検出器の技術開発やスクリーニング方法への適用を試みられており、この分野では第一人者の方々です。

江原氏は、土壌環境向けの各種機器 (水質計や温度計。赤外吸収検出器もこれに含まれる) の研究開発に携わっておられ、とくに赤外吸収検出器については専門家です。また、竹田氏は、土壌中の油分分析器のひとつである比濁検出器について、過去 15 年間の技術経験をもっておられます。本技術は、地方公共団体の指定検査法にも指定されているところがあり、環境庁や東京都の関連委員会にも正規の委員として参画されていました。

\* 上記について江藤理事より報告がありました承された。

2. 委員の交代

1) 地盤調査規格・基準委員会 WG11 スウェーデン式サウンディング

- ・本間 史祥 メンバー (都市再生機構 技術・コスト管理チーム) 笹山 普 氏 (同機構)

理由: 転勤に伴う委員の交代

\* 上記について江藤理事より報告がありました承された。

3. ISO 海外派遣

1) ISO/TC 190 調整会議および AFNOR (仏国規格) ヒアリング会議

期 間: 2009 年 8 月 20 日 ~ 8 月 26 日

訪問国: オランダ・ユトレヒト (ISO/TC 190 調整会議), フランス・パリ (AFNOR ヒアリング会議)

派遣者: 坂井委員 (ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー)

理 由: 添付ファイル参照

[別紙 - 43] p.132

費 用: 経済産業省

2) 第 7 回 ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 会議およびセルビア国家標準局ヒアリング会議

期 間: 2009 年 9 月 6 日 ~ 9 月 11 日

訪問国: ドイツ・ベルリン, セルビア・ベオグラード

派遣者: 坂井委員 (ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー, ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) convenor)

理 由: 添付ファイル参照

[別紙 - 44] p. 133

費 用: 経済産業省

\* 上記について江藤理事より報告がありました承された。

4. JIS 改正素案 (3 件) の学会内公示

- ・以下の 3 件の改正素案を地盤工学会誌平成 22 年 1 月号に公示する予定である。

JIS A 1214 砂置換法による土の密度試験方法

JIS A 1215 道路の平板載荷試験方法

JIS A 1222 現場 C B R 試験方法

\* 上記について江藤理事より報告がありました承された。

5. JIS の公示

[別紙 - 45] p.134

- ・9 月 3 日付官報に室内試験関係 17 件の JIS が告示された。

\* 上記について江藤理事より報告がありました承された。

6. 新刊本「地盤材料試験の方法と解説」の価格について

[別紙 - 46] p.135 (差替)(当日配布)

\* 上記について江藤理事より報告があった。会員特価 12,600 円、定価 18,270 円 (いずれも税込み) 初版印刷部数 2000 部とすることが了承された。

7.平成 21 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	検討中				
・三菱総合研究所(回答作成)	60万円			2/26	
・三菱総合研究所(重点TC旅費)	160万円				
・経済産業省		350万円		3/16	
小計	220万円	350万円	: 上限, 予算は 620 万円		
合計	570万円				

\* 上記について江藤理事より報告がありました承された。

その他

\*特になし。

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり署名押印する。

平成 21 年 9 月 28 日  
社団法人 地盤工学会

議 長

議事録署名者

議事録署名者

この謄本は、正本と相違ありません。

平成 21 年 月 日  
社団法人 地盤工学会  
会 長 浅 岡 顕